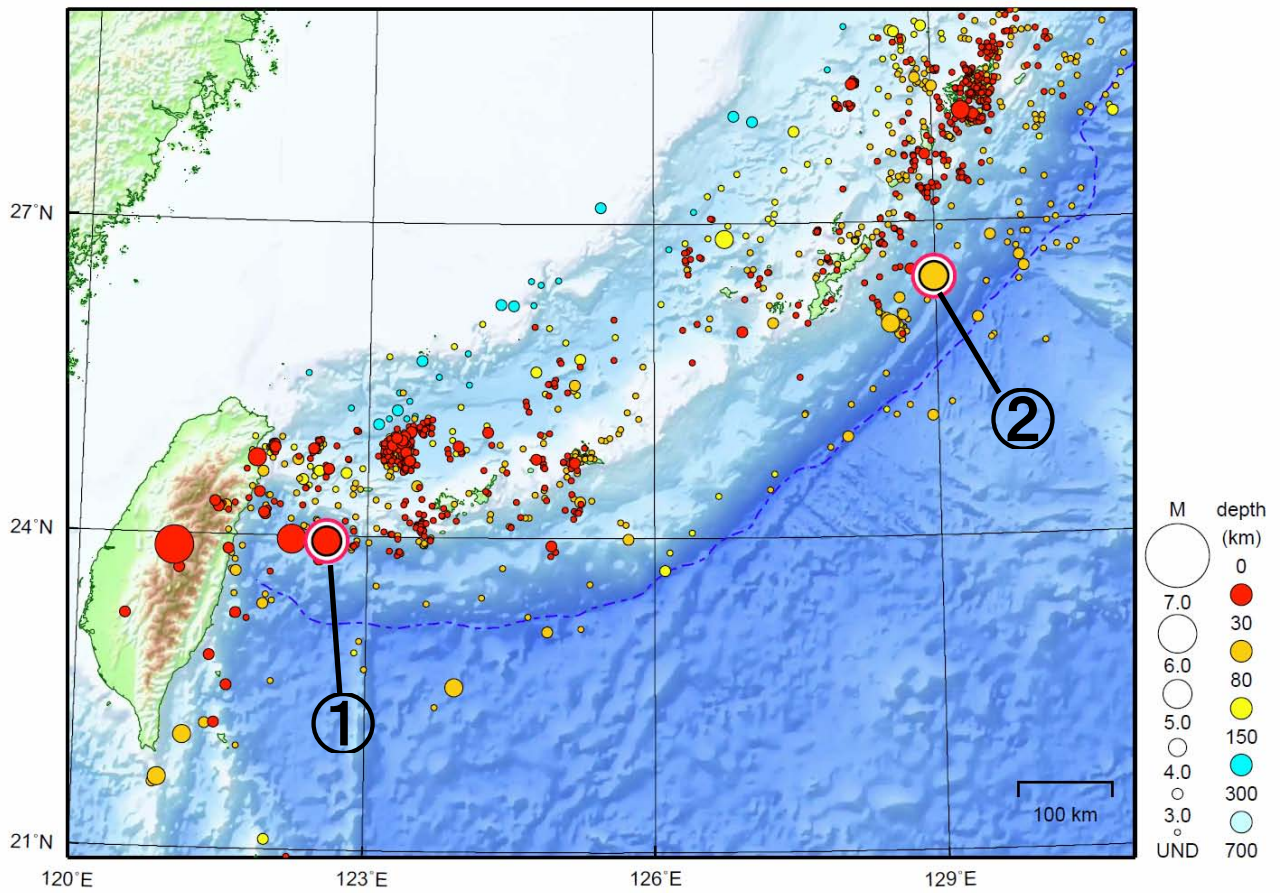


# 沖縄地方

2013/06/01 00:00 ~ 2013/06/30 24:00

N=1532



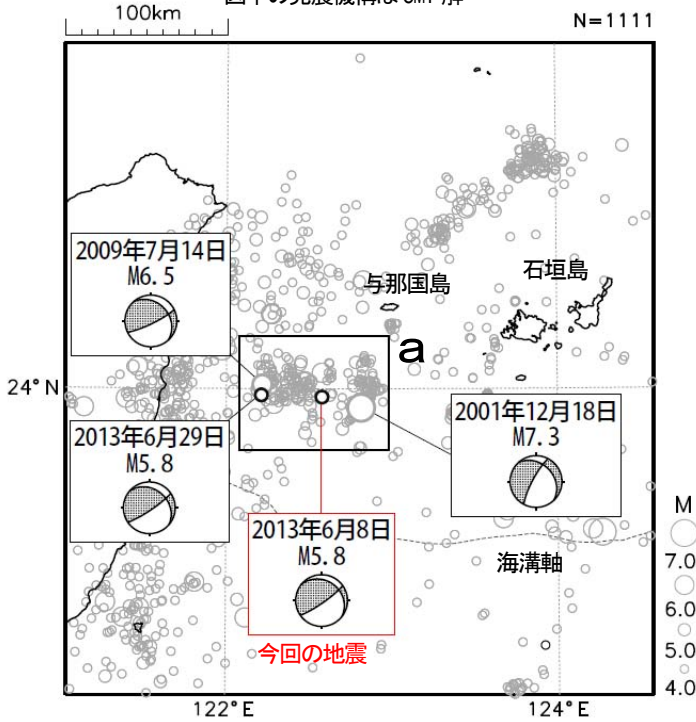
地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOPO2v2 を使用

- ① 6月8日に与那国島近海で M5.8 の地震（最大震度3）が発生した。
- ② 6月13日に沖縄本島近海で M5.8 の地震（最大震度3）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

# 6月8日 与那国島近海の地震

震央分布図  
(2000年7月1日～2013年6月30日、  
深さ0～100km、M 4.0)  
2013年6月の地震を濃く表示  
図中の発震機構はCMT解

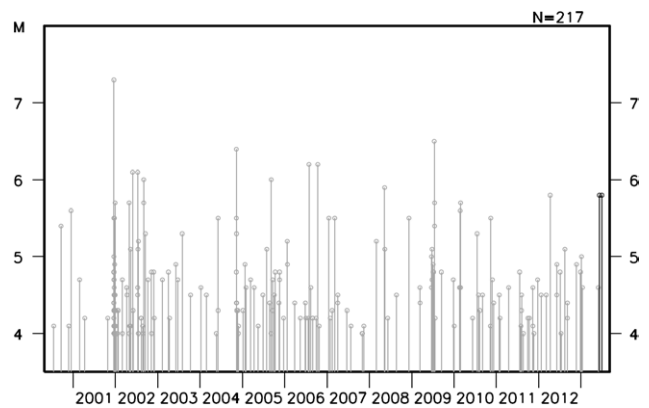


2013年6月8日01時38分に与那国島近海（与那国島の南西約70km）の深さ25kmでM5.8の地震（最大震度3）が発生した。発震機構（CMT解）は、北北西－南南東方向に圧力軸を持つ型であった。

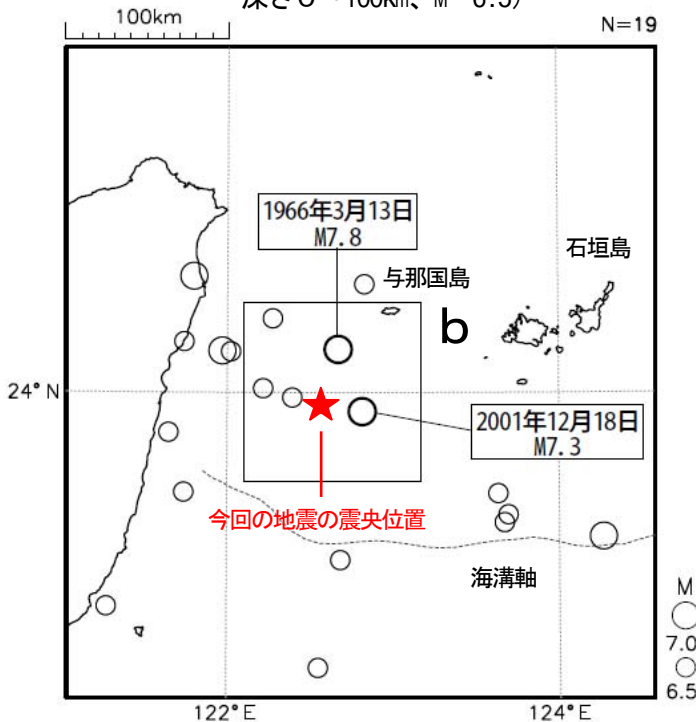
なお、6月29日にも、今回の地震の震央から約40km西の台湾付近でM5.8の地震（最大震度2）が発生している。

2000年7月以降の地震活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域a）では、2001年12月18日に発生したM7.3の地震（最大震度4）により与那国島で12cm、石垣島で4cmの津波を観測している。また、2009年7月14日にもM6.5の地震（最大震度3）が発生している。

領域a内のM-T図

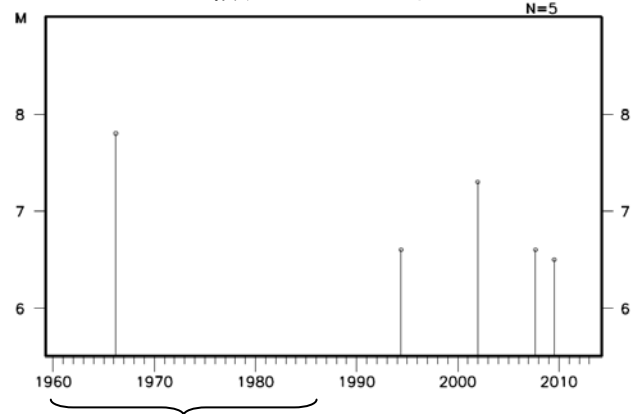


震央分布図  
(1960年1月1日～2013年6月30日、  
深さ0～100km、M 6.5)



1960年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、2001年12月18日を含めM7.0以上の地震が2回発生している。1966年3月13日のM7.8の地震（最大震度5）では、与那国島で死者2名、家屋全壊1棟、半壊3棟などの被害が生じた（「最新版 日本被害地震総覧」による）。

領域b内のM-T図

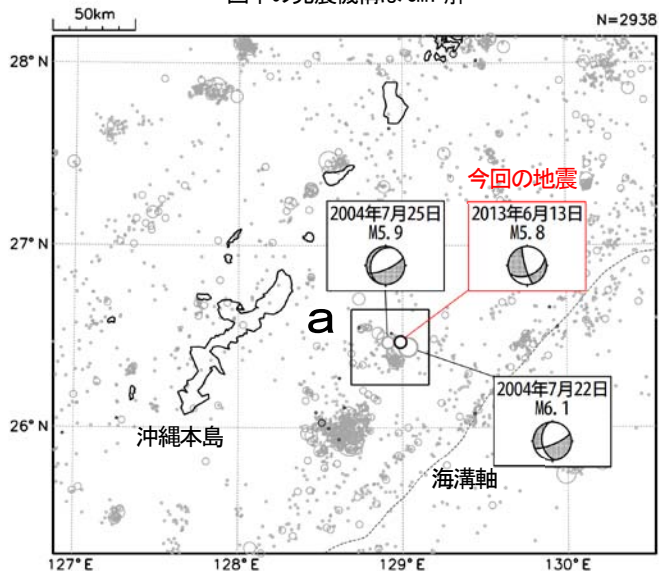


(この期間は検知能力が低い)

# 6月13日 沖縄本島近海の地震

震央分布図

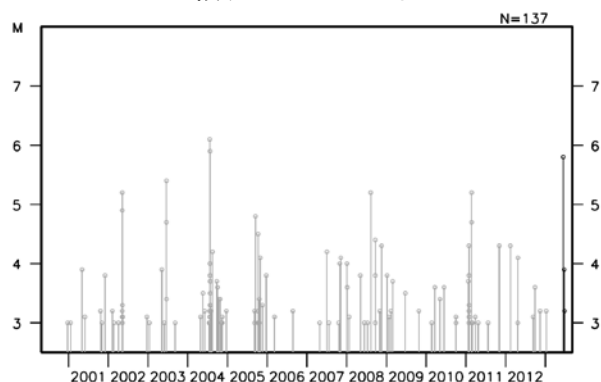
(2000年7月1日～2013年6月30日、  
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$ )  
2013年6月の地震を濃く表示  
図中の発震機構はCMT解



2013年6月13日22時24分に沖縄本島近海（沖縄本島の東方沖）でM5.8の地震（最大震度3）が発生した。発震機構（CMT解）は、西北西－東南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。

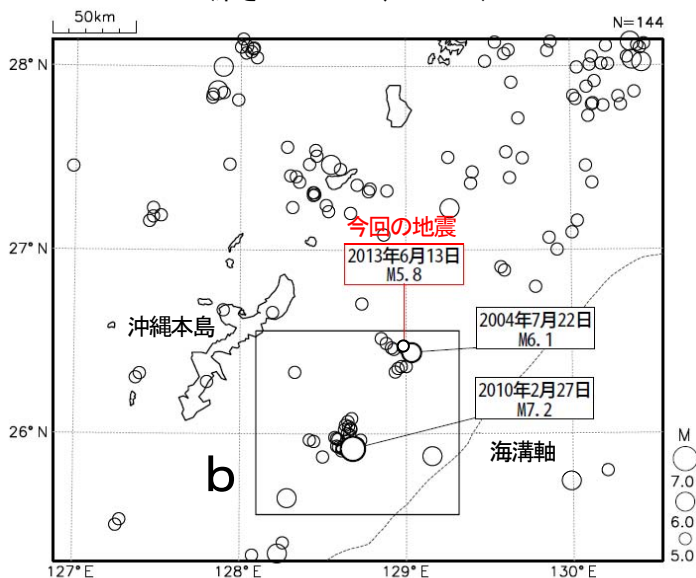
2000年7月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M5.0を超える地震が時々発生しており、2004年7月22日にM6.1（最大震度3）、7月25日にM5.9の地震（最大震度2）が発生している。

領域a内のM-T図



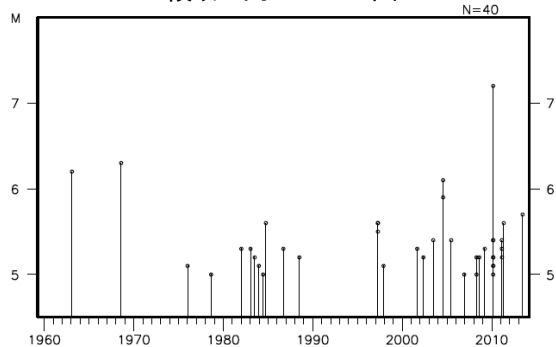
震央分布図

(1960年1月1日～2013年6月30日、  
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$ )



1960年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M6.0以上の地震が時々発生している。2010年2月27日に発生したM7.2の地震（最大震度5弱）では、負傷者2人、住家の一部破損などの被害が生じた（総務省消防庁による）。また、この地震により、南城市安座真で10cm、南大東島で微弱な津波を観測した。

領域b内のM-T図



（この期間は検知能力が低い）